

## 2 目標達成計画

作成日: 平成23年11月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		一部の医療機関で介護スタッフが診察室に同席できない。	家族にはできる範囲で受診に付き添っていただき、主治医の話を聞いていただく。	・家族に手紙を出す。 (受診時の付き添いのお願い) ・往診時に合わせた面会のお願い(電話等)	2か月
2		様々な災害に備え、警察署から協力が得られるように、事業所を理解してもらい取り組みが不十分である。	様々な災害に備え、警察署から協力が得られるような体制を構築する。	すでに管轄の駐在所にはお願いをしている。	か月
3	6	やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合に備えて、体制を整える。	身体拘束のない介護を行う事が基本ではあるが、やむを得ず行わなければならない時のために、同意書を作成し、同意を得ておく。	・職員全員の身体拘束排除の理解をもう一度確認する。 ・同意書作成 ・身体拘束の必要性のある家族より同意を得る。	2か月
4		介護計画を家族と話し合い、また、本人の意思を確認して作成する。(家族アンケートより)	家族を交えて話し合い、ケアプランを作成する。	・事前に本人と家族とで話し合い、ケアプランを作成する(面会時、電話等)	3か月
5		職員の一部には利用者本位ではない声掛けが行われていることがある。	職員全体で利用者本位の声掛けを行う。	1.職員全員で家族アンケートに目を通す。 2.自己評価を行いながら、自己覚知する。 3.職員全員で「良い声掛け」について話し合う。 4.研修に参加する。 5.ケアに取り組む。	か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。